

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 名古屋東急ホテル
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 池森 由幸
 幹事 足立 一郎
 広報・会報委員長 樫尾 富二

No. 36

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

Reach Within to Embrace Humanity

2011~2012年度 RI会長 カルヤン・パネルシー

今日の例会

第1408回 平成24年5月15日(火)
 講演 “日本フィリピン協会について”
 藤田保健衛生大学 リサーチャー
 農学博士 Juvy Oliva Q. Subere 様

先週の例会

第1407回 平成24年5月8日(火) 晴
 講演 “マンドリン三昧”
 マンドリン音の博物館 館長 南谷 博一 様

◆君が代

◆それでこそロータリー

◆ゲスト紹介 マンドリン音の博物館
館長 南谷 博一様

◆出席報告

会員	40 (32) 名	出席	24名
出席率	75.00%		
前々回	4/15 (修正出席率)		100%

足立幹事報告

- 1) 本日例会終了後、次年度計画書用の写真撮影を致しますので、そのまま皆様お残り下さい
ご都合の悪い方は5月29日にも予定致しておりますのでよろしくお願い致します
- 2) 次週5月15日は春季家族会を変更して通常例会を行いますので、お間違えなきよう宜しくお願い致します。理事役員会も次週に変更されておりますので理事役員の方はご予約下さい
- 3) ロータリーの友 ガバナー月信5月号がきておりますのでお帰りにお持ち下さい

池森会長挨拶

昨日、先日ホストを務めました地区協議会のご報告、参加御礼、点鐘の件のお詫びを兼ねて名古屋東クラブを訪問して参りました。
 ガバナーエレクトは国際大会に参加のため、ご欠席され

ていらっしやいましたので、柳沢幹事様にくれぐれもよろしくお伝え下さいとご挨拶を差し上げて参りました。
 当日、名古屋東クラブの清水会長が金環日食についてお話をされていらっしやいましたので、今日は、それを引用しまして再来週に迫りました金環日食についてお話をしたいと思います。

2012年5月21日(月曜日)の午前7時31分に名古屋地区では金環日食を見る事ができます。地球と月と太陽が一直線に並んで月が太陽を遮ると日食になります。金環日食は、月の軌道が楕円形であるが故に、その遮る位置が楕円の距離方の位置する日食の時に、皆既日食になり、地球と月との距離が長い時に金環日食になります。
 月の陰により、太陽の殆どが隠れますが、周りがリング状になって輝く極めて珍しい日食です。今回は、東京と静岡では、ほとんど中心軸上に位置しますので、極めて綺麗なリング状に見えます。名古屋では、地理的に軸中心から今回は少し外れますのでリングが偏って左上が大きく見えますが、金環状態には見えません。
 正確には、名古屋地区では午前6時17分から部分日蝕に入り、7時29分から33分までの間が金環状態になり、また部分日蝕に戻って8時57分に元に戻ると言う、世紀のスペクタクルであります。

日本眼科学会や日本眼科医会を中心にメガネ屋さん等で、この日食を普通のサングラスやスキーの時のゴーグル等を使って見ないようにとのキャンペーンを行っています。太陽光はとても強いので、専用の日食メガネを使って見て下さい。このメガネでは、普通の形式はほとんど見えない程、遮光性が高いものですので、くれぐれもご注意をお願い致します。

名古屋地区で、この前に金環日食を見る事ができたのは、何と平清盛が生まれる約40年前の1080年12月14日(932年前)平安時代承暦4年でした。1086年に白河上皇が院政を始める前です。また、名古屋で、この前に皆既日食を見る事ができたのは、1852年12月11日(160年前)江戸時代嘉永5年 明治天皇誕生の年です。部分日蝕は2009年7月22日でしたが、この日は曇りではっきり見る事はできませんでした。
 また、今度、名古屋で皆既日食を見る事ができるのは、NASAや国立天文台のWeb-Siteでも2100年までの予測しか表示されていず、その範囲では皆既日食は予測されていませんので、我々は見る事ができません。
 ところが、名古屋では、2041年10月25日にもう一度金

環日食を見る事ができます。世界中でも一生の中で2回も金環日食を見る事ができるのは極めてレアなケースですので、皆さんも頑張って再チャレンジに備えて今回は予行演習と言う事で5月21日月曜日の朝に東の空をご覧ください。



◆講演 “マンドリン三昧”

マンドリン音の博物館 館長 南谷 博一様
(紹介 山本眞輔君)



1944年7月国民学校一年生一学期が終了し、担任から通信簿を頂戴した。

音楽のみ良(後は幸いに優)、今から思えばその時の担任に感謝をしなければならぬ。

早速数日後母に連れられギター教師

の家へ、標準より小柄な私には大人用のギターは余りにも大きく、手が届かない。幸い？半ば壊れかけのマンドリンが有り、持ち替える様にと云われた。ギターよりは

ました。これが私とマンドリンのお付き合いの始まりである。大学卒業迄は学業・研究に忙しくマンドリンへの情熱は可もなし、不可もなしであったが練習は続けた。情熱にエンジンがかかったのは24才の時である。恩師の還暦祝賀演奏会が名古屋市公会堂で開催された。私も独奏で出演させて頂いた。師の芸術に対する素直で純粋な姿勢に多感な若き青年の私は完全にノックアウトを喰らってしまった。

更に師の学問的研究である。私が本格的に欧州各国の楽譜、文献に興味を持ち始めたのもその頃で、更にマンドリンの歴史、作曲家の生い立ち、曲の解説等、師の教えが無ければ当然今の私は有りません。

私のマンドリンへの情熱は20代後半から始まったのです。27才国内戦後初のソロリサイタルを、29才の時に2度目のリサイタルを、その後全国各地で30数回のリサイタルを行い、その間にもラジオ、テレビに出演。そして32才と34才の時イタリアで演奏を行った。

24才の頃マンドリン愛好家の間でどこへ行っても、図書館へ行ってもマンドリンの資料が無いことを耳にしたので、ヨーロッパより取り寄せた資料をもとに事典の製作に取り掛かった。36年の歳月がかかったが1999年遂にマンドリン事典(外国人編)を完成した。

又20代半ばより楽器の研究に着手、従来の楽器よりより美しい音の、より大きな音の出る楽器を1972年に完成、現在全国のソリストに愛奏されている。

そのマンドリンの音色の素晴らしさをもっともっと知って頂きたいのと後進を指導する場所としてマンドリン芸術院の建設、そしてマンドリンの存在を更に広めたい考えでマンドリンの音の博物館を平成7年5月8日(ナゴヤの日)にオープンした。マンドリンの祖先はギリシャで生まれたと云われ、イタリアで育ち日本へは明治27年にイギリスより渡来したのが第1号である。私達はマンドリンの為に心血を注いだ先人に感謝の気持ちを表せねばならない。

一昨年マンドリン楽団 [Delfini d'oro (金の鯨)] のメンバーを引率してマンドリンの父と云われる Carlo Munier の墓前に花を手向けて感謝の意を表した。又イタリアの優秀な3つの楽団とジョイント コンサートを持ち日伊親善の絆をより深くして帰国した。2015年にはマンドリンの母と云われる嘗てのイタリアの女王 Regina Margherita の墓前での演奏、そして献花を行いたいと計画を練っている。そして更に願はくばマンドリン科を有する音楽大学と姉妹提携を結び、益々の発展に結びつけばと願っている。マンドリンの響きは数多くの倍音を含み癒しの効果があり、健康の為に最高楽器と思う。

ニコボックス

池森 由幸

マンドリンの南谷さん 宜しくお願いします

鈴木 理之

転居致しました
名東区ヤナセより徒歩1分です
またお遊びに来て下さい

山本 眞輔

南谷博一先生をお迎えして

足立 一郎

萩原喜代子

伊藤 健文

加藤 重雄

松居 敬二

宮尾 紘司

三好 親

西川 豊長

大口 弘和

大谷 恩

佐久間良治

笹野 義春

鈴木 聖三

竹内 克豊

竹内 眞三

谷口 優

舎人 経昭

和田 正敏

吉田 玄

南谷様 マンドリンのお話宜しくお願い致します



合計 32,000 円

次回例会 平成24年5月22日(火) 春季家族会
「吉兆」名古屋店 ミッドランド41階